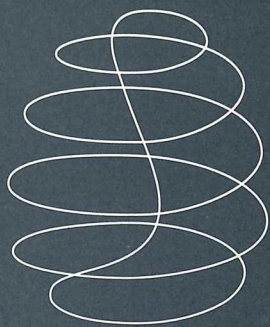


見て、ふれて、聞いて、五感で体感する  
アート&サイエンスの展覧会



Eggs of Möbius 1995

# メビウスの卵展

Eggs of Möbius

1995

Science in  
Art Exhibition

1995年

7月22日(土) → 8月2日(水)

開館=午前10時→午後6時30分(入館は6時まで)

休館=7月27日(木)/入場無料


主催=メビウスの卵展東京実行委員会

(財)品川文化振興事業団O美術館

協力="来るべき芸術"のためのワークショップ

NEC+NECデザイン

機材協力=アップルコンピュータ株式会社

助成=芸術文化振興基金 

財)品川文化振興事業団

 美術館

東京都品川区大崎1-6-2  
大崎・ユーンテイ2号館  
Tel.03-3495-4040

## [今年の特徴]

メビウスの卵展は、今年5周年を迎えます。芸術の中に生きている科学—Science in Art—をテーマに、子供も大人も展示物にふれて楽しめる「観客参加型」の展覧会として、これまで多くの実験的な展示、ワークショップを行ってきました。今年は、毎年の常連出品者に加えて、パソコンによる立体視、触覚に訴える作品なども出品されます。また参加型展示物の可能性をより広げていくという観点から、企業内のデザイナー、研究者との共同研究も試みます。ここではコンピュータを使った参加型展示物も発表されます。

## [五年目を迎えて]

ある美術講座の終了生たちの発表会としてO美術館で始まった私たちのささやかな試みは、その後数年の間に、地域の人々と子供たちの共感を得て、「大崎の夏のイベントとして定着した感がある」とアンケート回答に書かれるほどに親しみをもって迎えられるようになりました。そして今では、造形作家、科学者、アマチュアの区別を越えて、「観客参加型の展示物」の可能性を追求できる貴重な場として多くの参加者を得ています。

## [全国への発展]

さらに今年は、メビウスの卵展が全国4ヶ所で行われることになりました。東北、九州に在住のアーティストや研究者が中心になって各地域で実行委員会を結成して展覧会を組織するという、画期的な試みを行います。福岡では九州大学移転跡地に科学施設を作るための「科学公園を作らん会」の全面協力、宮崎大学学長・池田一氏(植物学)や九大名誉教授・種子田定俊氏(流体力学)の出品協力など、科学系の展示が充実しています。仙台ではアーティストが中心となった実行委員会、多くの大学の科学研究者の協力、美術教育系の大学生のボランティア・スタッフ参加など、幅広い展開を試みます。赤瀬川原平氏による特別講義もあります。多摩では野外展示物を多摩中央公園内に仮設する他、パルテノン多摩の科学展示施設を会場にした展覧会を開催します。それぞれの地域で、今、何かが生まれる未知の「卵」が孵化しているのです。

## ◎5周年記念講演

7月22日(土) (午後6時、無料)

メビウスの卵展の5年間

石黒敦彦(「来るべき芸術」のためのワークショップ代表)

## ◎ワークショップ

(各日とも午後2時-4時、無料、先着30名まで)

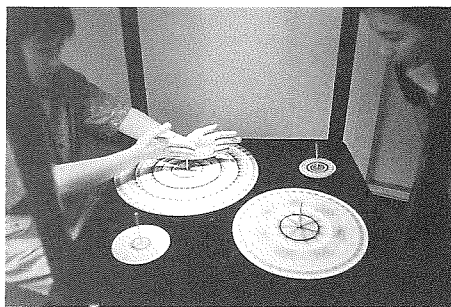
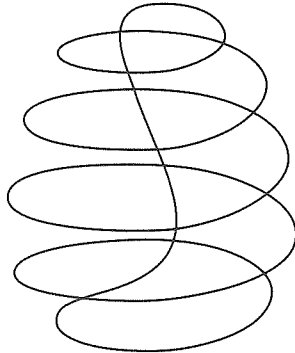
▶7月22日(土) 竹の建築を感じてみよう

日詰明男(建築家)

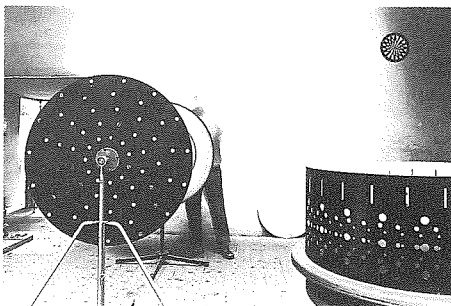
2メートルの竹を使って「星のカゴ」を組んでいくプロセスを、観客の方々にも参加してもらいながら行います。

# メビウスの卵展

Eggs of Möbius 1995



白黒のコマをまわすと虹色が見えてくる「謎の色彩コマ」



色のパターンが動いて見えるスイスから来た色彩アニメ装置

## ▶7月23日(日) 工場まちのジャンク・アートⅡ

下中菜穂(造形作家)

品川の隣の区・大田区は、日本で最も町工場の多い地域の一つです。その町で見かけるいろいろな部品や廃材を使ってオブジェを作ります。

## ▶7月29日(土) 飛び出さない両眼視

細馬宏通(滋賀県立大学人間文化学部講師)

パソコンを使って3D立体視をするワークショップです。ふだんは感じない人間の目の仕組みのふしぎを体験してください。

## ▶7月30日(日) イメージを形にする

加藤治男(工業デザイナー)

講師が用意したふしぎな「見えない形」を手(触覚)

で探りながら、粘土で立体の造形作品を作ります。

\*会場内でワークショップを行うため、その間、展示物の一部が鑑賞できない場合もございます。その旨、ご了承ください。  
この他にも、期間中に随時ワークショップが開催される予定です。詳細については、実行委員会、美術館にお問い合わせください。

## ●出品者

IKIF(実験映像装置、予定)

伊丹 裕(サイキック・インスタレーション)

MAAH(参加型展示物)

太田孝幸(パソコン立体視作品)

岡崎幸廣(数学の参加型展示物)

大谷喜朋(アニメーション作品)

加藤 浩(コンピュータ参加型展示物、NEC情報メディア研究所)

加藤治男(参加型展示物)

河嶋久美子(参加型展示物)

木村亮太(参加型展示物)

郷津晴彦(オブジェ)

斉藤典子(タブロー)

鈴木伸明(ケミカル・オブジェ)

竹野美奈子(浮力のオブジェ)

立川真理子(参加型展示物)

土屋健一(参加型展示物、NECデザイン)

富岡雅寛(参加型展示物)

永原康史(パソコン立体視作品)

西野隆史(幾何学の参加型展示物)

原 鉄(音響彫刻)

日詰明男(幾何学オブジェ)

昼間行雄(実験映像装置)

細馬宏通(パソコン立体視作品)

三澤純子(参加型展示物、NECデザイン)

柳瀬順一(ハイパー・パズル)

由木 礼(動く色彩の展示物)

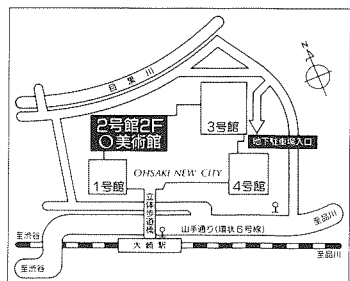
●カスパー・シュヴァーベ(幾何学オブジェ、スイス)

アンドレアス・ホファー(動く色彩の参加型展示物、ドイツ)

パウル・シャッツ(動く幾何学オブジェ、スイス・故人)

●下中菜穂(ワークショップ・ゲスト)

\*出品者、ワークショップは都合により一部が変更されることもございます。



## [交通]

JR山手線大崎駅東口下車徒歩1分

東急バス(大井町⇄渋谷駅)大崎駅徒歩1分

[駐車場]

美術館専用駐車場はございません。

お車でご来場の場合、「大崎ニューシティ」

地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

## ○美術館

東京都品川区大崎1-6-2

大崎ニューシティ2号館2F Tel.03-3495-4040

●内容についてのお問い合わせ先

メビウスの卵展東京実行委員会 Tel.03-3479-4755